

再評価結果（平成20年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道防災課
担当課長名：下保 修

事業名 地域高規格道路 一般国道9号 駒馳山バイパス <small>しちやま</small>	事業区分 一般国道 (2次改築)	事業主体 中国地方整備局	
起終点 自：鳥取県岩美郡岩美町本庄 <small>とっとり いわみ いわみ ほんじょう</small> 至：鳥取県鳥取市福部町湯山 <small>とっとり とっとり ふくべ ゆやま</small>	延長 7.7 km		
事業概要 一般国道9号は、京都市から下関市に至る延長約670kmの主要な幹線道路であり、沿線地域の産業・観光や住民の生活に大きな役割を果たす重要な路線である。 駒馳山バイパスは、岩美郡岩美町や鳥取市における国道9号の交通混雑の緩和、安全で円滑な交通確保、周辺地域との連携強化を図ることを目的とした延長7.7kmの4車線道路である。			
H7年度事業化	H10年度都市計画決定 (H15年度変更)	H10年度用地着手	
H13年度工事着手			
全体事業費	609億円	事業進捗率	
計画交通量	11,300~16,400台/日	供用済延長	
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.2 (残事業) 1.8 総費用 (残事業)/ (事業全体) 373 / 541 億円 (事業費：338 / 506 億円) (維持管理費：35 / 35 億円)	総便益 (残事業)/ (事業全体) 674 / 674 億円 (走行時間短縮便益：548 / 548 億円) (走行経費減少便益：82 / 82 億円) (交通事故減少便益：44 / 44 億円)	基準年 平成19年
感度分析の結果 残事業について感度分析を実施 交通量変動：B/C=1.9 (交通量+10%) B/C=1.7 (交通量-10%) 事業費変動：B/C=1.7 (事業費+10%) B/C=2.0 (事業費-10%)			
事業の効果等 ・円滑なモビリティの確保：一般国道9号の渋滞緩和が見込まれる ・安全で安心できるくらしの確保：三次医療施設（鳥取県中央病院）へのアクセス向上が見込まれる ・個性ある地域の形成：主要観光施設へのアクセス向上が見込まれる 他17項目に該当			
関係する地方公共団体等の意見 駒馳山バイパスは、地域高規格道路「鳥取豊岡宮津自動車道」の一部でもあり、地域交流の促進、交通混雑の緩和、交通安全の確保等に重要な役割を果たすことが期待されており、鳥取市、岩美町、新温泉町の首長で構成される「鳥取豊岡宮津自動車道整備推進協議会」により早期整備の要望（平成19年8月24日）を受けている。			
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 平成10年度に都市計画決定、平成15年度に都市計画の変更を行っている。 また、交通量増加に伴い、平成10年度に駒馳山峠周辺1箇所が渋滞箇所として位置づけられている。			
事業の進捗状況、残事業の内容等 平成18年度末時点で、用地買収については90%が完了。(面積ベース)			
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 現在、H20年代中盤の全線暫定2車線供用を目指し、事業を進めているところである。			
施設の構造や工法の変更等 新技術の活用（橋梁：FCB工法、トンネル：高風速ジェットファン、薄型卵形側溝）等によりコスト削減に努めている。			
対応方針 事業継続			
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。			
事業概要図 			

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。